

科目名	スポーツ		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさや便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果として健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

教育目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツの動機づけ

内容

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

1. 体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
2. 球技を中心に様々なスポーツ種目を2～4週単位で行います。
3. 毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
4. 年間で2～4週は健康に関する講義を取り入れます。
5. フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
6. 出席カードを作成（顔写真を準備してください）し、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

評価

出席状況および授業態度70点、実技テスト20点、レポート10点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	スポーツ		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果として健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

教育目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツの動機づけ

内容

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

1. 体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
2. 球技を中心に様々なスポーツ種目を2～4週単位で行います。
3. 毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
4. 年間で2～4週は健康に関する講義を取り入れます。
5. フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
6. 出席カードを作成（顔写真を準備してください）し、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

評価

出席状況および授業態度70点、実技テスト20点、レポート10点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	スポーツ		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	00クラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさや便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果として健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

教育目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツの動機づけ

内容

自分のからだを知り、心もからだも健康になれるような講義を組み込んだ実技中心の授業です。

1. 体力づくりやダイエットなど目的に応じた運動を理論も含め実技中心に学びます。
2. 球技を中心に様々なスポーツ種目を2～4週単位で行います。
3. 毎時間、ストレッチ・ウォーミングアップを入れ体力維持を図ります。
4. 年間で2～4週は健康に関する講義を取り入れます。
5. フィールドアスレチック、なわとび、手遊びなど身近に楽しめる運動も行います。
6. 出席カードを作成（顔写真を準備してください）し、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

評価

出席状況および授業態度70点、実技テスト20点、レポート10点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	加藤 暁子、飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1,2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

共通科目に必修で開講されるコンピュータ演習の授業です。Office2007対応のWindows Vistaを使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

今日の社会に不可欠となったコンピュータの、基本的な操作方法から情報を処理する基本技術を完全に習得することを目標に1年間を通して、反復しながら身につけていきましょう。

現在は、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばすお手伝いをします。

内容

1. コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
2. ワープロの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
3. 学内ネットワークの理解 フォルダ管理
4. 文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
5. 細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8. 文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
9. インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
10. ワープロを駆使した作品を作成する
11. パワーポイント 資料を作る
12. パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
13. エクセルを使って、基本的な計算を試みる
14. Wordのおさらい
15. 前期最終授業（テスト）
- 16~18. エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20. エクセルの活用 グラフの作成
21. 簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24. エクセルを活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26. パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27~29. 総合実習（1）~（4）ワード・エクセルでビジネス文書づくり
30. 後期最終授業（テスト）

評価

1. 演習科目に準じ、欠席が5分の1であること。（80%以上の出席回数が必要不可欠）

2.課題はほぼ毎回与えられる。これらが提出期限及び要求水準を満たしていること。

3.出席点100点、課題100点、授業中の取組む姿勢100点、テスト100点の合計400点で240点以上を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	加藤 暁子、飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

共通科目に必修で開講されるコンピュータ演習の授業です。Office2007対応のWindows Vistaを使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

今日の社会に不可欠となったコンピュータの、基本的な操作方法から情報を処理する基本技術を完全に習得することを目標に1年間を通して、反復しながら身につけていきましょう。

現在は、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばすお手伝いをします。

内容

1. コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
2. ワープロの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
3. 学内ネットワークの理解 フォルダー管理
4. 文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
5. 細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8. 文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
9. インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
10. ワープロを駆使した作品を作成する
11. パワーポイント 資料を作る
12. パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
13. エクセルを使って、基本的な計算を試してみる
14. Wordのおさらい
15. 前期最終授業（テスト）
- 16~18. エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20. エクセルの活用 グラフの作成
21. 簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24. エクセルを活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26. パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27~29. 総合実習（1）~（4）ワード・エクセルでビジネス文書づくり
30. 後期最終授業（テスト）

評価

1. 演習科目に準じ、欠席が5分の1であること。（80%以上の出席回数が必要不可欠）

2.課題はほぼ毎回与えられる。これらが提出期限及び要求水準を満たしていること。

3.出席点100点、課題100点、授業中の取組む姿勢100点、テスト100点の合計400点で240点以上を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

共通科目に必修で開講されるコンピュータ演習の授業です。Office2007対応のWindows Vistaを使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

今日の社会に不可欠となったコンピュータの、基本的な操作方法から情報を処理する基本技術を完全に習得することを目標に1年間を通して、反復しながら身につけていきましょう。

現在は、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばすお手伝いをします。

内容

1. コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
2. ワープロの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
3. 学内ネットワークの理解 フォルダー管理
4. 文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
5. 細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8. 文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
9. インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
10. ワープロを駆使した作品を作成する
11. パワーポイント 資料を作る
12. パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
13. エクセルを使って、基本的な計算を試みる
14. Wordのおさらい
15. 前期最終授業（テスト）

- 16~18. エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20. エクセルの活用 グラフの作成
21. 簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24. エクセルを活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26. パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27~29. 総合実習（1）~（4） ワード・エクセルでビジネス文書づくり
30. 後期最終授業（テスト）

評価

1. 演習科目に準じ、欠席が5分の1であること。（80%以上の出席回数が必要不可欠）

2.課題はほぼ毎回与えられる。これらが提出期限及び要求水準を満たしていること。

3.出席点100点、課題100点、授業中の取組む姿勢100点、テスト100点の合計400点で240点以上を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

共通科目に必修で開講されるコンピュータ演習の授業です。Office2007対応のWindows Vistaを使用し、Word、Excel、Power Pointが活用できるように、実習をしながら学習します。

今日の社会に不可欠となったコンピュータの、基本的な操作方法から情報を処理する基本技術を完全に習得することを目標に1年間を通して、反復しながら身につけていきましょう。

現在は、ほとんどの学生が、高等学校までにパソコンの授業を受講してきているなかで、パソコンをただ”使える”ということではなく、”いかに活用できるか”ということが求められます。そのために必要な技術を自分のものにしていただくため、技能を伸ばすお手伝いをします。

内容

1. コンピュータをはじめるにあたって 機器の使用法と簡単な入力練習
2. ワープロの基本操作 ウィンドウ操作、文章の入力、カット&コピー、電子メール操作
3. 学内ネットワークの理解 フォルダー管理
4. 文書入力 書式の設定、フォーマット、保存の仕方
5. 細かい入力操作の反復、ワードアート・クリップアートの活用
- 6~8. 文書作成 編集機能を使って、おしらせ文を作成する
罫線・表の入ったおしらせ文を作成する ビジネス文書の作成
9. インターネット検索より詳しく 就職サイトへの登録の仕方のお手伝い
10. ワープロを駆使した作品を作成する
11. パワーポイント 資料を作る
12. パワーポイント 絵や写真を入れて作品を作り、アニメーションを加える
13. エクセルを使って、基本的な計算をしてみる
14. Wordのおさらい
15. 前期最終授業（テスト）
- 16~18. エクセルで計算式をいれた表を作成する
- 19~20. エクセルの活用 グラフの作成
21. 簡単なデータベースの作成 データの並べ替え・検索など
- 22~24. エクセルを活用した問題演習（1）（2）（3）
- 25~26. パワーポイントで、与えられた課題から、プレゼンテーションシートを作成する
- 27~29. 総合実習（1）~（4）ワード・エクセルでビジネス文書づくり
30. 後期最終授業（テスト）

評価

1. 演習科目に準じ、欠席が5分の1であること。（80%以上の出席回数が必要不可欠）

2.課題はほぼ毎回与えられる。これらが提出期限及び要求水準を満たしていること。

3.出席点100点、課題100点、授業中の取組む姿勢100点、テスト100点の合計400点で240点以上を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第一回目の授業のときに、指示します。

他に、印刷用紙を用意すること。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目に開講される選択科目のコンピュータ演習の授業です。

1 年次で習得したワープロ、エクセル、パワーポイントの技術を、各自が習得した実力にそってより幅広く活用できるように、Windows Vista を使い、実習をしながら学習します。1年次の授業とは違い、与えられた課題を終わらせるだけではなく、自発的にアレンジできる技術を養っていきましょう。さらに、役に立つワードやエクセルの裏技もお教えます。

コンピュータを自在に利用し、卒業年次生として、社会人につなげられるよう、社会のニーズに合った情報処理技術を高め、少しでも多く自信をつけて行ってください。未来に繋げる学習をすることを目標に1 年間を通して、反復しながら身につけていきましょう。

希望があれば、パソコンの検定を受験するお手伝いもします。

内容

以下の内容は、各年度によって(各学年の力によって)多少前後します。

- 1 ~ 5 .いろいろな関数 (復習も兼ねる レベル別)
- 6 ~ 8 .ビジネス文書の書き方 言葉の使い方
- 9 ~ 10 .入力と処理 ワードとエクセルの融合
- 11~ 13 .Web 利用の徹底(資料の収集) データの取り込みと整理
- 14 .データとは何か データの読み方
- 15 .データベースの基礎 アクセスの基本操作及びエクセルでのデータベース
- 16~ 18.エクセル活用の徹底
- 19~ 20.ビジネス文書の書き方 使い方 その2
- 21.パワーポイント活用(1) プレゼンテーションとは何か?
- 22~ 26.パワーポイント活用(2) 作成した資料を発表資料にする デザイン スライドショーの活用
- 27~ 30.総合演習 資料作成の復習 ビジネス資料作成の徹底(ワード・エクセル)

評価

- 1.演習科目に準じ、欠席が5 分の1 であること。(80%以上の出席回数が必要不可欠)
- 2.課題は頻繁に与えられる。これらが提出期限及び要求水準を満たしていること。
- 3.出席点100 点、課題100 点、授業中の取組む姿勢100 点、テスト100 点の合計で240 点以上を必要とする。ただし、連絡をすれば就職活動は優先して可。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材は、毎回プリントを配布します。

他に、フラッシュメモリを用意すること。

【参考図書】実教出版『エクセル演習』

実教出版 『60時間でエキスパート Word&Excel』

教育出版 『ビジネス文書検定1・2級問題集』

など、授業中に、随時紹介していきます。

科目名	英語		
担当教員名	高山 浩子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この授業では皆さんは英語の講読力と文法力アップを目的に勉強します。進学にも国際化の中で社会生活においても、英文理解の必要性が増してきています。そこで、この授業で基本的な講読力をしっかり付け、簡単な物語なら楽しく十分に読めるくらいに努力しましょう。

内容

日本語において、講読力アップに必要なことは多量に読むことです。英語も同様です。ですから、楽しい話をたくさん読むことにします。本の内容はいろいろな国の興味深い話が詰まっていて、文体もしっかりしたものです。予習をしてから授業に参加して下さい。

評価

平常点（30） 出席点（20） 試験（50）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Fantastic But True 南雲堂

科目名	英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グローバル化が進んだ今日の社会では、日本で生活していても基礎的な英語力を要求されることがたびたびある。この授業では英語コミュニケーションを主眼におき、シンプルな文法と語彙、そして英語の4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)を総合的に伸ばすことを目指す。

内容

文法については、基礎的なものについて、理解するだけでなく発信できるレベルを目指して練習を行う。音声教材を用いたリスニング、ペアワーク、ロール・プレイなどの口頭練習を多く行い、英語を文字だけでなく音として認識し、使用する練習を行う。

相手に自分の声を聞かせることが口頭によるコミュニケーションの第一歩である。恥ずかしがらずに大きな声で発話するように心がけてもらいたい。

1	ガイダンス U1 -1 Meeting and Greeting people
2	U1 -2 Present Tense Questions and Answers
3	U2 -1 Past Tense Questions and Answers
4	U2 -2 Talking about the Past
5	U3 -1 Expressing Frequency
6	U3 -2 Using"How ...?" Questions
7	U4 -1 Making Plans
8	U4 -2 Talking about Activities
9	U5 -1 Expressing Likes and Dislikes
10	U5 -2 Ordering in a Restaurant
11	U6 -1 Future Tense Questions and Answers
12	U6 -2 Expressing Certainty and Uncertainty
13	U7 -1 Talking about Location
14	U7 -1 Asking for and Giving Directions
15	試験

評価

テスト及び課題50点・授業への取り組み20点・出席30点の合計で評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Herman Bartelen, Take It Easy!: Talking Naturally and Confidently, Cengage Learning

科目名	英語		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では単語力を強化するとともに、短い英文を読むことから徐々に読解力の向上を図っていきます。またvideoやtapeを用いてのリスニング力の増強とさらにそれらを観たり、聞いたりすることを通して様々な国の文化についても同時に学んでいくことをねらいとします。

内容

前期

第1週目	Introduction
第2, 3週目	Unit One Wonders of the Nile River
第4, 5週目	Unit Two Bali Craftsmen
第6, 7週目	Unit Three Cowboys
第8週目	Review/Test
第9, 10週目	Unit Four Gypsy Life
第11, 12週目	Unit Five London Buskers
第13, 14週目	Unit Six The Danube
第15週目	Test

後期

第1週目	Introduction
第2, 3週目	Unit Seven Folk Music
第4, 5週目	Unit Eight Desert Berbers
第6週目	Review/Test
第7, 8週目	Unit Nine Turkey's Whirling Dervishes
第9, 10週目	Unit Ten Tibetan Mandala
第11, 12週目	Unit Eleven Tequila, Mxico
第13, 14週目	Unit Twelve Native Merican Arts
第15週目	Test

評価

出席率20%、 テスト80%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Discovery: World Cultures John S.Lander Asahi Press

科目名	国語表現		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、書く・話す・聞く、の三つに重点を置きます。

教科書・小説などを通して「読む」ことにはなれていても、自分の考えを書いたり話したり、あるいは人の話・発表を聞いて質問をするのは苦手という人は少なくありません。

授業の中で、作文・発表の機会をなるべく多く設け、「場慣れ」してもらうことを予定しています。その際、こちらからは読み手や聞き手に対する気づかひのコツを伝えたいと思います。

内容

現代人の使う言葉の何が問題なのか。(第1週)

話し言葉：スピーチ、プレゼンテーション、質問におけるルール・技術。敬語の使い方(前期)

書き言葉：メール・レポート・小論文などの書き方。資料のよみとり。表記ルール、校正の仕方、話し言葉と書き言葉の違い(後期)

テスト(後期最後の授業で小論文のテストを行う)

評価

出席30点、授業態度20点、テスト50点とし、総合的に評価。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』(橋本修ほか編著、三省堂)

科目名	国語表現		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは人生のさまざまな節目で必ず文章を書くことでしょう。この授業の第一の目標は、自分の意図をしっかりと相手に伝えられる文章を書くことです。ただし、読み手に自分の考えを伝えるだけの文章は、比較的簡単に身につけることができます。それにくわえて、社会のなかで自分を活かすための文章を書くとなるとなかなかできません。

「文は人なり」といいます。自分を的確に表現する論理的文章が書けることは、あなた自身の魅力に磨きをかけることにつながります。自分を省み、他者とのつながりをみつめ、社会との関わりを考える文章を書くことを通じて、あなたの将来設計と一緒に創っていきたいと思います。

内容

授業の主な内容は以下の通りです。毎時間200字～300字程度の文章を書きます。また、授業時間内に名詩や名文、名翻訳をみんなで朗読して日本語のもつリズム感や豊富な語彙を味わっていきます。和歌や俳句、詩を読むことを通じて、日本人の発想と情感を考えます。

なお、毎授業の最初に、実践に活かせる幅広い国語力を身につける豆テストを行います。五分間程度。例えば、漢字、ことわざ、故事成語、百人一首、敬語、現代用語など。

、将来を考える

A, 自分をみつめる

- 1、原稿用紙の使い方を学ぶ
- 2、文章の構成の基本型を学ぶ
- 3、自己紹介文を書く～過去を振り返り、現在をみつめ、未来を考える～

B, 就職を考える

- 1、やりたい仕事・就きたい職業
 - 2、この仕事を目指すようになったきっかけ
 - 3、その仕事についての現代社会認識
 - 4、自己PR(その仕事をやっていくのにふさわしい自分の長所)
 - 5、仕事を通して、自分がどのように成長していきたいか
 - 6、さまざまな新聞記事を読む～時事問題から自分と社会の関わりを考える～
- 、他者とのかかわりのなかで

A, 手紙を書く

- 1、手紙の書き方やルールを学ぶ
- 2、季節の挨拶状を書く
- 3、お礼状・詫言状・依頼状を書く

評価

夏期・冬期のレポート...各20点、授業時におこなう提出物...40点、平常点...20点

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。授業時に随時プリントを配布する。推薦書は以下の三点。

山田ズーニー『あなたの話はなぜ「通じない」のか』（ちくま文庫、2006・12）

杉山美奈子監修『暮らしの絵本 書き方のマナーとコツ』（学習研究社、2007・10）

半谷進彦『できる人の敬語の正しい使い方』（明日香出版社、2009・5）

科目名	キャリアプランニング		
担当教員名	吉原 珠央		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは短大卒業後の自分の将来をどのように思い描いているでしょうか？この授業では、女性の多様なキャリアプラン、ライフプランや、それを取り巻く環境についての理解を通じて、みなさんがどのように社会に関わっていかうとするか、そのために短大でどのように学ぶのか、ということをも具体的に考える手助けをします。さらに、社会で必要とされるコミュニケーション能力やマナーなどを高める実践的な授業を通して、みなさんそれぞれが持つ可能性を発見し、それを形にするための基礎的な力を身につけることを目的とします。

内容

1. 学生生活から卒業後の進路までのライフデザインについてのガイダンス
2. 女性のキャリアと取り巻く環境～業界、企業組織の仕組みについて
3. 女性のキャリアと取り巻く環境～多様なワークスタイル
4. 女性のキャリアと取り巻く環境～OGを迎えてのトークセッション
5. 自分の能力・可能性に気づく～自己分析ワークショップ
- 6～ 8. 大人の女性として振る舞う～社会で必要とされるビジネスマナー
- 9～ 12. 自分を表現する～コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高める
(ワークショップと演習)
13. 自分のキャリアをデザインする
14. プレゼンテーション実習
15. 模擬面接

評価

出席20%、平常点30%、試験50%の配分で総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト・参考図書については、授業時に指示します。

科目名	キャリアプランニング		
担当教員名	里館 美津子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

皆さんにとって最後の学生生活が始まりました。卒業すれば1人1人が異なる道へ進み、それぞれの新しい世界を築いていくこととなります。この最終章で大事な考察は「こうすべき」と感覚的に物事を決めるのではなく「自分はどうか」という選択判断と意思決定の思考回路を持ち、未来につながる自分の行動基準のベースを確立することです。テストのように正解は1つではなく、社会には多数の選択肢があり「自分はなにを選ぶのか」という日々の積み重ねが、そのまま人生の歩みに反映していきます。現段階では将来を考えるとという重さに、大変な気持ちになってしまうかもしれません。「キャリアプランニング」とは「1人1人が自分自身の羅針盤を設計する」ことが根底にあります。本講座は「社会人への準備として必要な基礎力養成」として、マーケティング論や人間関係論をベースとした社会構造の理解 ビジネス知識およびマナーの習得とコミュニケーション能力の増強 実技ワークショップの三部構成で進行します。‘状況や感情’といった主観で揺れ迷うのではなく、‘分析と予測と判断’をもって納得のいく選択や確実な解決ができる「論理的思考能力・判断力・問題解決能力」の素地を磨き、これまでの学生生活の集大成としての学びを目標としています。社会を広く知り、自分を見つめ、就職を含めた未来イメージを具体的に把握し、それぞれで異なる個性や可能性に適した選択のあり方や努力目標を考察し、そのための適切な方法論を発見するための勉強です。一緒に頑張りましょう。

内容

ライフデザインとキャリアプランニング

社会構造を理解するための基礎経済論(市場経済マーケット・企業組織・業界別ビジネスモデル他)

社会生活における人間関係論(公的人間関係と私的人間関係/多様なコミュニケーションへの理解)

ビジネスマナー(1/2/3)

ビジネスコミュニケーション(1/2/3)

自己分析ワークショップ

プレゼンテーション実技ワークショップ

評価

平常点(出席を含む)30%、ワークショップ(課題および実技演習を含む)25%、試験45%の配分で、総合的に判断します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト・参考図書については、授業時に指示します。

科目名	キャリアプランニング		
担当教員名	里館 美津子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

皆さんにとって最後の学生生活が始まりました。卒業すれば1人1人が異なる道へ進み、それぞれの新しい世界を築いていくこととなります。この最終章で大事な考察は「こうすべき」と感覚的に物事を決めるのではなく「自分はどうか」という選択判断と意思決定の思考回路を持ち、未来につながる自分の行動基準のベースを確立することです。テストのように正解は1つではなく、社会には多数の選択肢があり「自分はなにを選ぶのか」という日々の積み重ねが、そのまま人生の歩みに反映していきます。現段階では将来を考えるとという重さに、大変な気持ちになってしまうかもしれません。「キャリアプランニング」とは「1人1人が自分自身の羅針盤を設計する」ことが根底にあります。本講座は「社会人への準備として必要な基礎力養成」として、マーケティング論や人間関係論をベースとした社会構造の理解 ビジネス知識およびマナーの習得とコミュニケーション能力の増強 実技ワークショップの三部構成で進行します。‘状況や感情’といった主観で揺れ迷うのではなく、‘分析と予測と判断’をもって納得のいく選択や確実な解決ができる「論理的思考能力・判断力・問題解決能力」の素地を磨き、これまでの学生生活の集大成としての学びを目標としています。社会を広く知り、自分を見つめ、就職を含めた未来イメージを具体的に把握し、それぞれで異なる個性や可能性に適した選択のあり方や努力目標を考察し、そのための適切な方法論を発見するための勉強です。一緒に頑張りましょう

内容

ライフデザインとキャリアプランニング

社会構造を理解するための基礎経済論(市場経済マーケット・企業組織・業界別ビジネスモデル他)

社会生活における人間関係論(公的人間関係と私的人間関係/多様なコミュニケーションへの理解)

ビジネスマナー(1/2/3)

ビジネスコミュニケーション(1/2/3)

自己分析ワークショップ

プレゼンテーション実技ワークショップ

評価

平常点(出席を含む)30%、ワークショップ(課題および実技演習を含む)25%、試験45%の配分で、総合的に判断します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト・参考図書については、授業時に指示します。

科目名	選択英語		
担当教員名	ヘザー ジョンソン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this course is to improve students' oral communication abilities. Through varied opportunities to speak and listen to English, students will gain confidence as their abilities' improve.

内容

Students will participate in a variety of speaking and listening activities, as well as, some reading and writing. Class activities will include pair work, group work, games, and role plays. Students are expected to participate and communicate in English.

Week 1 Introduction, class rules, and classroom English

Week 2 Review rules and classroom English

Week 3 Textbook and textbook character introductions

Weeks 4-5 Unit 1 "Would you like chicken or fish?"

Weeks 6-7 Unit 2 "Can I have your passport, please?"

Weeks 8-9 Unit 3 "My mother has her own business."

Weeks 10-11 Unit 4 "Can I check my email?"

Weeks 12-13 Unit 5 "Are you ready to order?"

Week 14 "Destination: The U.K." and role play practice

Week 15 Exam ? Role play

Week 16 Welcome back! How was your holiday?

Weeks 17-18 Unit 6 "Where's the station?"

Weeks 19-20 Unit 7 "Can I use my card at this ATM?"

Weeks 21-22 Unit 9 "I have a stomachache."

Weeks 23-24 Unit 10 "I'm from Japan."

Week 25 Destination: New Zealand"

Weeks 26-27 Unit 11 "What time does it start?"

Weeks 28-29 Unit 15 "How about 400 baht for two?"

Week 30 Exam ? Speaking test

評価

Attendance and participation 30%, Quizzes 30%, Exams 40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Passport (2nd Edition) Level 1, Oxford University Press

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

内容

1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)研修を行う。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 就職委員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

3. 実施例

パスポートセンター、住信ビジネスサービス、プリンスホテル、ベルク 他

評価

学 生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	インターンシップ		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

内容

1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)研修を行う。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 就職委員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

3. 実施例

パスポートセンター、住信ビジネスサービス、プリンスホテル、ベルク 他

評価

学 生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	西洋の思想		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 2010年度は、主に西洋の先哲に焦点をあてて、その倫理思想について学ぶ。
2. 資料を読みながら、それら倫理思想の現代的意義について考える。
3. 人間が生きるということの意味について考える。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週には筆記試験を行う。

- 1 古代ギリシアの思想(ソクラテス以前)
- 2 ソクラテスの思想
- 3 プラトンの思想
- 4 アリストテレスの思想
- 5 初期キリスト教哲学(教父の時代)
- 6 スコラ哲学の歴史
- 7 ルネサンス期の思想
- 8 近代的自我のめざめ
- 9 大陸合理論の思想
- 10 イギリス経験論の思想
- 11 ドイツ観念論哲学(カントの思想)
- 12 フィヒテとヘーゲルの思想
- 13 ルソーの思想
- 14 近代的教育思想
- 15 筆記試験

評価

出席30：課題20：期末試験50の割合で評価し、60点以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは指定しないが、高等学校で使用した公民科「倫理」の教科書は大いに活用できる。

資料については、プリントを適宜配布する。

科目名	女性と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

民法家族法(親族・相続)の基礎を学びます。現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や人工授精で子どもをもつことには、生物学上および法律上の親子の問題が生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。この授業では、家族法の基礎知識の取得と、現代の家族問題の理解深めることを目的としています。なお、当科目は、法律学基礎および民法入門を既ににあるいは同時に履修していることが望ましい。

内容

1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	現代的問題 (例:代理懐胎と法等)
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 (相続人と相続財産)
12	相続 (法定相続)
13	遺言・遺留分
14	総括 ~女性と家族と法~
15	定期試験

評価

出席・受講態度(20%)、レポート(30%)、ペーパーテスト(50%)を総合して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『家族の法』 利谷信義 (有斐閣)

【参考図書】『デリー六法』(三省堂) その他の六法も可

科目名	日本国憲法		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語) / 中学校教諭二種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 日本国憲法の概要について、正しく理解する。
2. 間もなく参政権を得る者として、法治国家と民主主義の意味について認識を深める。
3. 教職課程履修者については、教育職員免許法に定める必修科目である。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週は総合的な筆記試験を行う。

- 1 民主政治の基本原則
 - (1) 国民と政治 (2) 政治と法 (3) 国民主権と民主政治
- 2 日本国憲法の基本理念
 - (1) 日本国憲法の基本的性格 (2) 民主政治と基本的人権
 - (3) 基本的人権を確保するための権利 (4) 自由権的基本権 (5) 法の下での平等
 - (6) 社会権的基本権 (7) 現代社会と基本的人権 (8) 基本的人権と公共の福祉
 - (9) 平和主義と防衛問題
- 3 政治機構と政治の運用
 - (1) 議会政治の原理 (2) 行政権の機構とはたらき
 - (3) 裁判所 (4) 地方自治
- 4 日本の政治の実態と問題
 - (1) 現代社会の政治構造 (2) 政党と選挙
 - (3) 世論と大衆運動 (4) 行政の民主化 (5) 戦後日本の政治過程
- 5 国際政治と日本
 - (1) 国際社会の政治構造 (2) 国際法と国際機構
 - (3) 戦後世界の政治過程 (4) 国際政治と日本

評価

毎回授業冒頭の小テスト50：期末試験50の割合で評価し、60点以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは現在選定中である。初回の授業で指示する。

科目名	くらしの心理学		
担当教員名	加藤 陽子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい：心理学の中でも、自分の生活に密着したトピックスについて学ぶことで、自分の日々の生活を心理学的な視点から捉えなおすことをねらいとする。

目標：生活に密着したトピックスを取り上げることによって、心理学および自分を含め人間一般の「心」に興味を持つことを目指す。

概要：心理学史から感覚・知覚の心理学、記憶と思考、知能の構造と発達、学習の基礎過程、行動のメカニズム、感情・情緒、人格、対人関係、人間の成長と発達、カウンセリングなどについて取り上げる。

内容

講義の方針：心理学をはじめて学ぶものにもわかりやすいように、生活に密着したトピックスを取り上げることによって、くらしに関連する心理学について学ぶ。

講義の進め方：講義方式を中心に適宜ビデオ視聴などを取り入れる予定である。教科書は使用しないが、講義内容をより深く理解するために推薦書などを利用した復習を勧める。なお、授業中もしくは授業後に、トピックに関する意見や感想などの提出を求めることもある。

内容：主に以下のトピックスを15回に分けて取り扱う予定である。

- 1) ころとは何か？～心理学史～
- 2) 今見ているものは本物か？～感覚・知覚の心理学～
- 3) 人はなぜ忘れてしまうのか？～記憶と思考の心理学～
- 4) 頭がいいとはどういうことか？～知能の心理学～
- 5) 経験とは何か？～学習の心理学～
- 6) 人は何に動かされるのか？～情動の心理学～
- 7) その人らしさとは何か？～人格の心理学～
- 8) 社会の中で生きていくために必要なこととは？～対人関係の心理学～
- 9) 子ども/青年/大人の心理とは何か？～人間の成長と発達の心理学～
- 10) カウンセリングとは何か？～心理学的援助法～

受講希望者が多い場合、受講制限を設けることがあります。

評価

【評価の方法】出席、講義への参加度、試験を総合的に評価する。配分は、出席：30点、講義レポート(講義中に数回

課す予定) : 20 点、試験 : 50 点。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しません。

【推薦書】長谷川勇一[ほか]著 『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ 2000
梅本暁夫[ほか]著 『心理学・心のはたらきを知る』 サイエンス 1999

【参考図書】授業中に適宜紹介します。

科目名	くらしの心理学		
担当教員名	加藤 陽子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい：心理学の中でも、自分の生活に密着したトピックスについて学ぶことで、自分の日々の生活を心理学的な視点から捉えなおすことをねらいとする。

目標：生活に密着したトピックスを取り上げることによって、心理学および自分を含め人間一般の「心」に興味を持つことを目指す。

概要：心理学史から感覚・知覚の心理学、記憶と思考、知能の構造と発達、学習の基礎過程、行動のメカニズム、感情・情緒、人格、対人関係、人間の成長と発達、カウンセリングなどについて取り上げる。

内容

講義の方針：心理学をはじめて学ぶものにもわかりやすいように、生活に密着したトピックスを取り上げることによって、くらしに関連する心理学について学ぶ。

講義の進め方：講義方式を中心に適宜ビデオ視聴などを取り入れる予定である。教科書は使用しないが、講義内容をより深く理解するために推薦書などを利用した復習を勧める。なお、授業中もしくは授業後に、トピックに関する意見や感想などの提出を求めることもある。

内容：主に以下のトピックスを15回に分けて取り扱う予定である。

- 1) ころとは何か？～心理学史～
- 2) 今見ているものは本物か？～感覚・知覚の心理学～
- 3) 人はなぜ忘れてしまうのか？～記憶と思考の心理学～
- 4) 頭がいいとはどういうことか？～知能の心理学～
- 5) 経験とは何か？～学習の心理学～
- 6) 人は何に動かされるのか？～情動の心理学～
- 7) その人らしさとは何か？～人格の心理学～
- 8) 社会の中で生きていくために必要なこととは？～対人関係の心理学～
- 9) 子ども/青年/大人の心理とは何か？～人間の成長と発達の心理学～
- 10) カウンセリングとは何か？～心理学的援助法～

受講希望者が多い場合、受講制限を設けることがあります。

評価

【評価の方法】出席、講義への参加度、試験を総合的に評価する。配分は、出席：30点、講義レポート(講義中に数回

課す予定) : 20 点、試験 : 50 点。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しません。

【推薦書】長谷川勇一[ほか]著 『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ 2000
梅本暁夫[ほか]著 『心理学・心のはたらきを知る』 サイエンス 1999

【参考図書】授業中に適宜紹介します。

科目名	女性と食物		
担当教員名	徳野 裕子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

今世紀は女性がますます社会において活躍できる時代と言われている。しかしながら一方で女性の体を取巻く環境は苛酷な状況を迎えつつある。そこで、この授業では、女性としての自分自身の健康について現在の状況を把握し、女性が健康であることの重要性について意識してもらい、自己コントロールすることの大切さを認識してもらいたいと思う。そして、女性として健康を維持するための食物とのかかわり方を歴史、環境、生活そして食材の品質や味覚といったさまざまな方面からテーマを取り上げ、体験し考えながら授業を進めたいと思う。

内容

1	現在の食生活と健康
2	食事バランスガイドについて
3	自分の健康状況の把握
4	健康を維持するための食品とは(栄養と食品)
5	新たな食品(保健機能食品など)とのかかわり方
6	食物を取巻く環境について
7	食品の安全性について
8	食材の選び方
9	ライフステージ別(妊産婦)の食生活
10	ライフステージ別(乳幼児)の食生活
11	ライフステージ別(成人から高齢者)の食生活
12	まとめ
13	調理実習
14	調理実習
15	試験

評価

平常点25点、レポート25点、ペーパーテスト50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】石井克枝 監修『ヘルシーデータ』教育図書株式会社

【推薦図書】藤城敏幸 著『生活と環境』 東京教学社

科目名	音楽		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関わっていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

ひとつのテーマにつき、1~3週で講義を進める予定。

- (1)現在自分を取り巻く音楽について
- (2)映像と音楽の関係を探る
- (3)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (4)自分の中にある音楽文化の認識
- (5)日本の「こどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (6)クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (7)ミュージカル音楽について(場面と音楽の関係)

評価

出席50点、毎時間提出のレポート50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

科目名	音楽		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽（例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など）を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関わっていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

ひとつのテーマにつき、1～3週で講義を進める予定。

- (1)現在自分を取り巻く音楽について
- (2)映像と音楽の関係を探る
- (3)合わせる楽しさの音楽について（コーラスやアンサンブルの楽しさを知る）
- (4)自分の中にある音楽文化の認識
- (5)日本の「こどもの歌」の歴史について（童謡・小学校時代の歌）
- (6)クラシック音楽について（背景文化との比較）
- (7)ミュージカル音楽について（場面と音楽の関係）

評価

出席50点、毎時間提出のレポート50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

科目名	美術		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。

ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。

様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか?を、講義と実技を通して理解を深めていく。

1. 、プロローグ(1)
2. 、感覚への刺激1
3. 感覚への刺激2
4. 感覚への刺激3
5. 感覚への刺激4
6. 感覚への刺激5
7. 感覚への刺激6
8. 感覚への刺激7
9. 、イメージの拡大・拡散1
10. イメージの拡大・拡散2
11. イメージの拡大・拡散3
12. イメージの拡大・拡散4
13. 、美術史の新しい視点1
14. 美術史の新しい視点2
15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度40% と作品成果60% を総合して評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業の中で紹介していく。

科目名	日常生活とコンピュータ		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

皆さんの身近なところには、知らず知らずのうちに、コンピュータシステムを利用したものがたくさんあります。コンピュータシステムを利用した家電製品が、家庭の中に広がり、半ば必需品となっています。そして、学内や企業内などのローカルな情報通信網から、世界的規模の通信網を利用した双方向通信の可能なインターネットシステムが、日常生活には当たり前のように普及しています。それと同時に、コンピュータネットワークや携帯電話のモバイルなどによる危険性など、たくさんの知識も必要とされています。それらについて改めて学習し、色々な発見をしたり、知識の幅を広げたりすることにより、コンピュータに親しみを覚えていただけたら幸いです。

それらコンピュータの仕組みなどを知ることにより、文章作りや表計算ソフトなどを使うときだけでなく、将来的にも、コンピュータ全般の利用価値を高めることへお役立ていただけたら嬉しいです。

内容

1. 私たちを取り巻くコンピュータの環境について
2. コンピュータの種類とコンピュータの簡単な仕組みについて
3. OSやアプリケーション・ソフトウェアの役割について
4. コンピュータを分解して理解する
5. ノートPCや携帯電話を分解し、仕組みを知る
6. 情報の流れのしくみと意味を学ぶ
7. コンピュータの歴史 コンピュータの言葉
8. 周辺機器のはたらきについて
9. インターネットの成り立ち、はたらき 電子メール、WWW ホームページの利用について
10. インターネットの危険性と回避策について
11. 家電製品のしくみやイルミネーションなど、身近な電子機器について
12. 身の回りにあるコンピュータやネットワークについて
13. 地上デジタル放送、テレビのしくみについて
14. 全体の復習
15. テスト

評価

講義のほか、自学・自習に対する指導・助言も行う。

単位認定の評価は出席30点、レポート30点、簡単なテスト40点。総合得点60点以上が必要。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材は、授業ごとにプリントを配布。

【参考図書】山形浩生 監修『コンピュータ』

新星出版社『パソコンのしくみ』

日経BP ソフトプレス『パソコンのしくみ』

山田宏尚 著『コンピュータのしくみ』

エクスメディア『パソコン用語集』など、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名	先人たちの知恵と思索		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-共通		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 2010年度は、主に西洋の先哲に焦点をあてて、その倫理思想について学ぶ。
2. 資料を読みながら、それら倫理思想の現代的意義について考える。
3. 人間が生きるということの意味について考える。

内容

15週のうち14週を下記の内容で授業する。最終15週には筆記試験を行う。

- 1 古代ギリシアの思想(ソクラテス以前)
- 2 ソクラテスの思想
- 3 プラトンの思想
- 4 アリストテレスの思想
- 5 初期キリスト教哲学(教父の時代)
- 6 スコラ哲学の歴史
- 7 ルネサンス期の思想
- 8 近代的自我のめざめ
- 9 大陸合理論の思想
- 10 イギリス経験論の思想
- 11 ドイツ観念論哲学(カントの思想)
- 12 フィヒテとヘーゲルの思想
- 13 ルソーの思想
- 14 近代的教育思想
- 15 筆記試験

評価

出席30：課題20：期末試験50の割合で評価し、60点以上を単位認定する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは指定しないが、高等学校で使用した公民科「倫理」の教科書は大いに活用できる。

資料については、プリントを適宜配布する。